

資料 使用した調査票

甲賀市市政に関する意識調査

= 協力のお願い =

日ごろから甲賀市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
市では、まちづくりの主体である市民の皆様への思いや願いをしっかりと受け止め、市政に活かしていくため、「市政に関する意識調査」を実施します。
いただいたご意見等は、高齢者から若者、子どもまで、健康でいきいきと活躍できる地域をつくるための大切な基礎資料とさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年（2019年）7月

甲賀市長

若永裕典

ご回答にあたってのお願い

■ 令和元年7月31日（水）までに、ご回答をお願いします。

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。※お名前のご記入は不要です。
- ご回答は本調査票またはインターネット回答（同封のインターネット回答操作案内参照）のどちらか一方のみにてお願いいたします。
- 今回の調査は、無作為に選ばせていただいた市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を対象に実施しています。
- この調査は、個人を対象としていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご回答ください。（ご本人による回答が困難な場合は、ご家族等の方がご本人から聞き取って代筆ください。）
- この調査の回答は、無記名でお願いしています。回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、内容が外部にもれりしてご迷惑をおかけすることはありません。安心してご回答ください。
- ご回答いただく調査票は、次のページからとなります。回答は、問1から問36まで順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- 回答しないうちに、お答えいただくことなく結構です。

・甲賀市をより良いまちにするために調査にご協力ください。
わからない事があれば下記へご連絡ください。

・Please cooperate with our survey to make Koka City a better town.
Please call this number as follows, if you have any questions.

・고카시를 보다 좋은 도시로 만들기 위한 조사에 협력해 주십시오.

・모르는 것이 있으시면 다음으로 연락해 주십시오.

・为了和甲賀市变成更美好的城市，请协助调查。如果有不明白的地方，请联系以下地址。

・Pedimos sua colaboração em relação a esta pesquisa, para fazer da Cidade de Koka uma cidade melhor.

Em caso de dúvidas, favor entrar em contato pelo telefone descrito abaixo.

・Por favor coopere con la encuesta para hacer de la Ciudad de Koka una ciudad mejor.

Si tuvieran alguna duda, pueden llamar al número de teléfono que figura en la parte de abajo.

【本調査に関する問合せ先】 甲賀市総合政策部 秘書広報課

TEL 0748-69-2101（直通） FAX 0748-63-4619

- 1 -

1. あなたご自身のことについてお答えください。

《問1》 あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

1 男 2 女 3 その他

《問2》 あなたの年齢は、7月1日現在でいくつですか。（○は1つだけ）

1 18～19 歳	2 20～24 歳	3 25～29 歳
4 30～34 歳	5 35～39 歳	6 40～44 歳
7 45～49 歳	8 50～54 歳	9 55～59 歳
10 60～64 歳	11 65～69 歳	12 70～74 歳
13 75 歳以上		

《問3》 あなたのお住まいの地域はどちらですか。（○は1つだけ）

1 水口地域 みづぐち	2 土山地域 つちやま	3 甲賀地域 こうか
4 甲南地域 こうなん	5 信楽地域 しがらき	

《問4》 あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。（○は1つだけ）

1 生まれてからずっと甲賀市に住んでいる
2 甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した
3 市外で生まれて甲賀市に転入した

＜付問1＞ 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。
甲賀市に転入後、何年ぐらいになりますか。（○は1つだけ）

1 3 年未満	2 3 年～10 年未満
3 10 年以上	

《問5》 あなたの世帯（同居）の構成はどれですか。（○は1つだけ）

1 単身（あなた1人）	2 夫婦のみ
3 二世帯世帯（親・子）	4 三世帯世帯（親・子・孫）
5 その他（ （複数選択回答）	

＜付問1＞ 問5で「3・4・5」のいずれかに回答された方におたずねします。
就学前または就学しているお子様・お孫様（同居）はおられますか。
※別居されているお子様・お孫様は含みません

1 2 歳以下	2 3 歳～小学校入学前
3 小学生	4 中学生
5 高校生	
6 専門学校生・短大生・予備校生・大学生（大学院生）	
7 就学前または就学している子どもはいない	

- 2 -

《問6》 あなたの職業等は何ですか。(○は1つだけ)

1	会社員	2	公務員
3	自営業	4	パート・アルバイト
5	専業主婦・主夫	6	学生
7	無職・その他		

＜付問1＞ 問6で「1～5」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたの主な勤務地（通学地）はどちらですか。(○は1つだけ)

1	自宅	2	甲賀市内
3	甲賀市以外の滋賀県内の市町	4	県外

2. 市政全体に関する満足度等についておたずねします。

《問7》 あなたは、甲賀市に愛着をお持ちですか。(○は1つだけ)

1	愛着がある	2	まあまあ愛着がある
3	あまり愛着がない	4	愛着がない

《問8》 あなたは、甲賀市の魅力を市外の人に自慢できますか。(○は1つだけ)

1	自慢できる	2	まあまあ自慢できる
3	あまり自慢できない	4	自慢できない

《問9》 あなたは、これからも甲賀市に住みつづけたいと思いますか。
(○は1つだけ)

1	住みつづけたい	2	住みつづけたいとは思わない
3	どちらともいえない		

＜付問1＞ 問9で「1」と回答された方におたずねします。
甲賀市に住みつづけたいと思う理由（家族の事情も含めて）は何ですか。
(複数選択回答)

1	地域に個性がある	2	地域に愛着がある
3	交通の便がよい	4	買い物に便利
5	娯楽・遊戯施設がある	6	地域の人間関係がよい
7	仕事の関係（仕事がある）	8	学校や進学の関係（学校がある）
9	結婚している（家族、親族がいる）から		
10	住宅がある	11	特に理由はない
12	その他（		）

＜付問2＞ 問9で「2」と回答された方におたずねします。
他の場所に移り住みたいと思う理由（家族の事情も含めて）は何ですか。
(複数選択回答)

1	地域の個性に乏しい	2	地域に愛着がもてない
3	交通の便がよいくない	4	買い物に不便
5	娯楽・遊戯施設が少ない	6	地域の人間関係になじめない
7	仕事の関係（仕事がない）	8	学校や進学の関係（学校がない）
9	結婚する（家族、親族が他の場所にいる）から		
10	住宅の都合	11	特に理由はない
12	その他（		）

《問10》 甲賀市での暮らしの「満足度」についておたずねします。
以下の①～④のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

※問10の調査項目は、「甲賀市民憲章」で示している5つのまちづくりの方向性で分類しています。詳しくは16ページをご覧ください。

	1	2	3	4	5	6
	満足	いど えら ば足	いど えら ばい 満	いど えら ばい 満	不 満	わ か ら な い
例 ○○について	1	②	3	4	5	6
1. あふれる愛にあたたも仲間						
① 市民自治 (区・自治会、自治会調査、市民活動)	1	2	3	4	5	6
② 市民共生 (高齢、多文化共生)	1	2	3	4	5	6
③ 男女共同参画	1	2	3	4	5	6
④ シティセールス (情報発信、広聴広聴)	1	2	3	4	5	6
2. いろどる山阿と生きいき文化						
⑤ 環境・景観 (自然保護、景観保全、公園整備、生活環境)	1	2	3	4	5	6
⑥ 歴史・文化財 (文化財の調査、保護、活用)	1	2	3	4	5	6
⑦ 生涯学習・文化・スポーツ (生涯学習、文化、芸術、スポーツの振興)	1	2	3	4	5	6
⑧ 資源・エネルギー (省資源、省エネ、新エネルギーの活用、 廃棄物処理)	1	2	3	4	5	6

《問 10 の つづき》					
1	2	3	4	5	6
満足	どちらか は満足	どちらか は満足	どちらか は満足	不満	わからない
3. こぼれる笑顔に広がる安心					
地域福祉					
⑨	1	2	3	4	5
(高齢者の生きがい、障がい福祉、地域福祉団 体、ボランティア、セーフティネット)					6
保健・医療					
⑩	1	2	3	4	5
(健康、疾病の予防と早期発見、地域医療体制、 国民健康保険、後期高齢者医療保険)					6
住まい・生活					
⑪	1	2	3	4	5
(良好な住環境、公営住宅、上下水道)					6
安全・防災					
⑫	1	2	3	4	5
(事故予防、防犯、消防、地域の防災体制、 土砂災害)					6
4. うみだす活力受けつぐ伝統					
農林畜水産					
⑬	1	2	3	4	5
(農林畜水産業振興、地域ブランド、鳥獣害 対策)					6
商工観光					
⑭	1	2	3	4	5
(商業、地場産業、工業、観光振興)					6
活躍・雇用					
⑮	1	2	3	4	5
(就労支援、女性の活躍、勤労者福祉)					6
道路・交通					
⑯	1	2	3	4	5
(広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス)					6
5. かがやく未来に臨海の夢を					
子ども・子育て					
⑰	1	2	3	4	5
(子育て支援、就学前教育、保育、 放課後児童クラブ、子育てネットワーク)					6
学校教育、青少年					
⑱	1	2	3	4	5
(学校教育、教育環境の充実、健全育成)					6
都市形成					
⑲	1	2	3	4	5
(市街地整備、土地の有効利用)					6
行財政					
⑳	1	2	3	4	5
(職員の人資、行政事務の効率、財産管理、 財政運営)					6

《問 11》 あなたは、現在の暮らしに幸せを感じますか。(○は1つだけ)

1	2
そう感じる	どちらかといえそう感じる
3	4
どちらともいえない	どちらかといえそう感じない
5	
感じない	

＜付問 1＞ 問 11で「1・2」のいずれかに回答された方におたずねします。
どんなことに幸せを感じますか。(複数選択回答)

1	2
お金	就業状況(仕事の有無・安定)
3	4
健康	自由な時間、充実した余暇
5	6
仕事	社会貢献
7	8
家族関係	友人関係
9	10
職場や学校等の人間関係	地域コミュニティとの関係
11	
その他()	

《問 12》 あなたは、市政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

1	2
関心がある	まあまあ関心がある
3	4
あまり関心がない	関心がない

《問 13》 市政に關係する次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。
以下の①～⑤のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5	6
	満足	どちらか は満足	どちらか ともいえない	どちらか は満足	不満	わからない
① 行政サービスの水準	1	2	3	4	5	6
② 情報の公開度	1	2	3	4	5	6
③ 行政(市役所)の信頼度	1	2	3	4	5	6
④ 市役所職員の質・対応	1	2	3	4	5	6
⑤ 市政への住民参画のしやすさ	1	2	3	4	5	6

《問14》 甲賀市のこれからのまちづくりにおける「重要度」についてお答えいただけます。以下の取り組みを充実させていくことについて、どのようにお考えですか。以下の①～⑫のそれぞれ項目について、右の欄の1～6の中からあなたが考える重要度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

※問14の調査項目は、「甲賀市民憲章」で示している5つのまちづくりの方向性で分類しています。詳しくは16ページをご覧ください。

	1 重要	2 い たら な い 重 要	3 い たら な い も と 重 要	4 あ ま り な い 重 要	5 重 要	6 わ か ら な い
1. あふれる愛にあなたも仲間						
① 市民自治 (区・自治会、自治会興盛、市民活動)	1	2	3	4	5	6
② 市民共生 (人権、多文化共生)	1	2	3	4	5	6
③ 男女共同参画 シティセールス (情報発信、広報広聴)	1	2	3	4	5	6
2. いろどる山河と生きいき文化						
⑤ 環境・景観 (自然保護、景観保全、公園整備、生活環境)	1	2	3	4	5	6
⑥ 歴史・文化財 (文化財の調査、保護、活用)	1	2	3	4	5	6
⑦ 生涯学習・文化・スポーツ (生涯学習、文化、芸術、スポーツの振興)	1	2	3	4	5	6
⑧ 資源・エネルギー (省資源、省エネ、新エネルギーの活用、廃棄物処理)	1	2	3	4	5	6
3. こぼれる笑顔に応える安心						
⑨ 地域福祉 (高齢者の生きがい、障がい福祉、地域福祉団体、ボランティア、セーフティネット)	1	2	3	4	5	6
⑩ 保健・医療 (健康、疾病の予防と早期発見、地域医療体制、国民健康保険、後期高齢者医療保険)	1	2	3	4	5	6
⑪ 住まい・生活 (良好な住環境、公営住宅、上下水道)	1	2	3	4	5	6
⑫ 安全・防災 (事故予防、防犯、消防、地域の防犯体制、土砂災害)	1	2	3	4	5	6

	1 重要	2 い たら な い 重 要	3 い たら な い も と 重 要	4 あ ま り な い 重 要	5 重 要	6 わ か ら な い
《問14 のつぎ》						
4. うみだす活力あふれる伝統						
⑬ 農林畜水産 (農林畜水産業振興、地域ブランド、鳥獣害対策)	1	2	3	4	5	6
⑭ 商工観光 (商業、地場産業、工業、観光振興)	1	2	3	4	5	6
⑮ 活躍・雇用 (就労支援、女性の活躍、勤労者福祉)	1	2	3	4	5	6
⑯ 道路・交通 (広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス)	1	2	3	4	5	6
5. かがやく未来に磨きこめる夢						
⑰ 子ども・子育て (子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク)	1	2	3	4	5	6
⑱ 学校教育・青少年 (学校教育、教育環境の充実、健全育成)	1	2	3	4	5	6
⑲ 都市形成 (市街地整備、土地の有効利用)	1	2	3	4	5	6
⑳ 行財政 (雇員の質、行政事務の効率、財産管理、財政運営)	1	2	3	4	5	6



3. 日常生活についておたずねします。

《問15》 人口減少、少子高齢化が進むなか、日常の暮らしを支える「道路・交通」分野について、今後、どのように進められたいと思われませんか。(Oは1つだけ)

A	1 Aに近い	2 どちらかといえ ばAに近い	3 どちらともい えない	4 どちらかとい えはBに近い	5 Bに近い	B
道路整備 を重視 幹線道路や 生活道路、 歩道の整備 など、道路 環境の改善 を重視すべ き	1	2	3	4	5	公共交通 を重視 鉄道やコミ ュニティバ スなどの公 共交通機関 の利便性向 上を重視す べき

《問16》 ごみを出すにあたり、お困りの点はありますか。(複数選択回答)

- 1 分別ルールが複雑でわかりにくい
- 2 集積所までごみを運ぶのに苦労している
- 3 洗ったり、たばねたり手間がかかる
- 4 その他 ()
- 5 特になし

《問17》 現在のごみの分け方をどのように思いますか。可能な範囲で理由もあわせてご記入ください。(Oは1つだけ)

- 1 分け方を細かくすべきである 【理由】
- 2 現状のままでよい 【理由】
- 3 分け方を簡単にすべきである 【理由】
- 4 その他 ()

4. 子ども・子育てについておたずねします。

《問18》 理想とする子どもの人数は何人です(でした)か。すでに子どもがいる場合は、その子どもも含めて数字を記入してください。また、実際の子ども的人数は何人ですか。数字を記入してください。

①理想の子ども的人数 _____人
②実際の子ども的人数 _____人

《問19》 理想とする子どもの人数まで生み育てることができるよう、甲賀市として取り組みべきことはどのようなことでしょうか。(複数選択回答)

- 1 男性と女性が一緒に家事、育児に参加していくという意識啓発
- 2 幼稚園・保育園・認定こども園の充実
- 3 延長保育の充実
- 4 休日保育の充実
- 5 夜間保育の実施
- 6 一時預かりの充実
- 7 地域における児童の活動への支援
- 8 子育て支援に必要な就業条件改善のための企業職場への指導・規制
- 9 不妊・不育治療の相談実施や治療費の負担軽減
- 10 妊産婦・子どもが安心して医療機関にかかることができる体制整備
- 11 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場の整備
- 12 結婚祝い金、出産祝金の支給
- 13 幼稚園・保育園・認定こども園の利用者負担の軽減
- 14 教育費の負担軽減
- 15 児童手当の拡充
- 16 子育て中の世帯の税の軽減
- 17 子育てに適した質の高い公営住宅の提供や資金融資による住環境の整備
- 18 安心して利用できる公園、道路交通環境、公共施設図書館・体育施設等の整備
- 19 その他 ()

5. 市民自治についておたずねします。

《問20》 あなたは、自治振興会の活動に参加されていますか。(Oは1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 なるべく参加している
- 3 参加していない
- 4 活動自体を知らない

6. 市民共生についておたずねします。

《問21》 あなたは、甲賀市が「人権が尊重されるまちになっている」と感じますか。(Oは1つだけ)

- 1 そう感じる
- 2 どちらかといえそう感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえそう感じない
- 5 感じない
- 6 わからない

《問22》 あなたはここ3年以内で、人権に関する研修会等(職場、学校、地域、市民権のセミナー等)に参加したことがありますか。(Oは1つだけ)

- 1 ある
- 2 ない

《問23》 人権の尊重されるまちの実現に向けて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つだけ)

1	実現に向けて、自分のできる限りの努力をしたい
2	特に努力したいとは思っていないが、差別しないようにしたい
3	自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる
4	できるだけ避けて通りたい
5	差別はないので、人権問題は存在しない
6	その他 ()
7	特に考えていない

《問24》 多文化共生のまちづくりを推進するために、あなたは何かができると思いますか。(複数選択回答)

※ 多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の発展図として共に生きていくこと

1	外国人に会いさつしたり、気軽に話しかける
2	地域での生活習慣やルールを伝える
3	地域の外国人とともに清掃・避難訓練などの地域活動に参加する
4	外国人が自分の国を紹介するイベントに参加する
5	外国人支援の活動
6	通訳や日本語教室支援などのボランティアに参加する
7	その他 ()
8	特になし

《問25》 多文化共生のまちづくりを推進するために、市はどのようなことに入力されるべきだと思いますか。(複数選択回答)

1	日本の文化や生活習慣などを教える教室の開催
2	多言語による情報提供
3	日本語教室の開催など日本語を学ぶひとへの支援
4	日本人と外国人との交流会やイベントの開催
5	外国人への偏見や差別をなくすための取り組み
6	外国人の子どもへの支援
7	多言語による生活相談の実施
8	日本人への外国の文化や生活習慣の紹介
9	多文化共生を進める団体やボランティアの支援と育成
10	その他 ()
11	特になし

《問26》 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス (DV)」や「デートDV」を知っていますか。(Oはそれぞれ1つずつ)

	1 名前も内容もよく知っている	2 多少知っている	3 名前は聞いたことがある	4 名前も内容も知らない
①	DV	1	2	3
②	デートDV	1	2	3

《問27》 あなたは、DVやデートDVを見聞きしたり被害にあったことがありますか。(それぞれ複数選択回答)

	身体的な暴力	心理的な暴力	性的な暴力	経済的な暴力	子どもを利用した暴力*	ない	
①	身近で見ました	1 何度も 1~2回	2 何度も 1~2回	3 何度も 1~2回	4 何度も 1~2回	5 何度も 1~2回	6
②	被害にあった	1 何度も 1~2回	2 何度も 1~2回	3 何度も 1~2回	4 何度も 1~2回	5 何ども 1~2回	11
③	被害にあった人から相談を受けた	1 何ども 1~2回	2 何ども 1~2回	3 何ども 1~2回	4 何ども 1~2回	5 何ども 1~2回	6
④	自分が身体的・心理的暴力を思っている行為をした	1 何ども 1~2回	2 何ども 1~2回	3 何ども 1~2回	4 何ども 1~2回	5 何ども 1~2回	6

※ 子どもを利用した暴力：子どもに暴力をふるう「子どもに暴力をふるう」と脅す、子どもを脅す、自分の思い通りに子どもを子どもにさせるなど

＜付問1＞ 問27の②で「1~10」と回答された方におたずねします。
被害にあったとき、どなたかに相談しましたか。相談した場合はどなたに相談したか、相談しなかった場合はその理由を次から選んでください。
(複数選択回答)

相談した先

1	配偶者暴力相談センター (子ども家庭相談センター・男女共同参画センター)
2	警察 3 広務局、人権擁護委員・人権なんでも相談
4	市の機関 (家庭児童相談室) 5 市の機関 (男女の悩みごと相談窓口)
6	民生委員児童委員
7	民間の専門家や専門機関 (弁護士、カウンセラーなど)
8	医療関係者 (医師・看護師など)
9	学校関係者 (教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)
10	家族や親戚 11 友人・知人
12	その他 ()

相談しなかった（できなかった）理由

1	どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった
2	相談しても無駄だと思った
3	自分にも悪いところがあり、自分さえ我慢すればよいと思った
4	相談したことによる仕返しや脅しがこわかった。もっとひどい暴力を受けると思った
5	思い出したくなかった
6	相手の行為は愛情の表現だと思った
7	他人に知られたくなかった。他人を巻き込みたくなかった
8	世間体が悪いと思った。恥ずかしくて誰にも相談できなかった
9	相談相手の言動により不快な思いをさせられると思った
10	相談するほどのことではないと思った
11	その他（ ）

《問28》 あなたは、DVについて相談できる窓口を知っていますか。（複数選択回答）

1	配偶者暴力相談センター（子ども家庭相談センター・男女共同参画センター）
2	警察
3	法務局・人権擁護委員・人権なんでも相談
4	市の機関（家庭児童相談室）
5	市の機関（男女の悩みごと相談窓口）
6	民生委員児童委員
7	法務局女性の権利サポートライン
8	こころダイヤル
9	県立精神保健福祉センター
10	こころの電話相談
11	犯罪被害者総合窓口（NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター）
12	その他（ ）
13	知らない

7. 男女共同参画についておたずねします。

《問29》 あなたは、「男は仕事」「女は家事・育児・介護」という考え方についてどのように感じますか。（○は1つだけ）

1	同感する	2	どちらかといえば同感する
3	どちらともいえない	4	どちらかといえば同感しない
5	同感しない	6	わからない

《問30》 「男女共同参画社会」の内容についてどの程度知っていますか。（○は1つだけ）

1	よく知っている	2	多少は知っている
3	内容は知らないが、言葉は聞いたことがある	4	知らない

《問31》 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の考え方についてどのように感じますか。（○は1つだけ）

1	同感する	2	どちらかといえば同感する
3	どちらかといえば同感しない	4	同感しない

《問32》 女性が働き続けたり、再就職するうえで必要なことは何だと思えますか。（複数選択回答）

1	仕事と家庭の両立への家族の協力や理解
2	仕事と家庭の両立への職場の協力や理解
3	育児休業や介護休業などの制度の充実
4	在宅勤務やフレックスタイム制の導入
5	男女の賃金差の解消
6	昇進、昇格などの不平等の解消
7	長時間労働等の解消（職場の働き方改革）
8	保育施設等の充実
9	女性自身の意識改革
10	特になし
11	わからない
12	その他（ ）

8. 市の情報発信についておたずねします。

《問33》 スマートフォンを利用した行政サービスで、日常の暮らしに必要と思われるものはどれですか。（複数選択回答）

1	税金の支払い	2	公共施設等の予約	3	パスの乗換案内
4	水道の開閉栓	5	相談予約	6	住民票や戸籍発行の予約
7	コミュニティ・タクシーの配車	8	ゴミ収集日の通知、分別案内		
9	イベント等の案内通知と申込	10	健診の通知と申込		
11	都市計画図や規制区域図などの図面の閲覧				
12	AI（人工知能）との会話による行政案内				
13	その他（ ）				

《問34》 市の広報紙「広報こうか」や「市議会だより」は主に新聞折込により各ご家庭にお届けしています。あなたは新聞を購読されていますか。（○は1つだけ）

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

《問35》 市の広報紙「広報こうか」や「市議会だより」の配布方法（新聞折込）や内容について、ご意見、ご提案があればお書きください。（自由記述）

--

《問36》 あなたは、市に関する次の情報を、どの程度読んだり、見たり、また音声等で聞いたりしておられますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 必ず読む、 見る、聞く	2 よく読む、 見る、聞く	3 たまに読む、 見る、聞く	4 読まない、 見ない、 聞かない
① 広報こうか	1	2	3	4
② 甲賀市ホームページ	1	2	3	4
③ 甲賀市フェイスブック	1	2	3	4
④ 行政情報番組「きらめきこうか」	1	2	3	4
⑤ 市議会だより	1	2	3	4
⑥ 市議会ホームページ	1	2	3	4
⑦ 市議会中継・録画 (あいコムこうか)	1	2	3	4
⑧ 市議会インターネット中継・録画	1	2	3	4
⑨ 市の行事等のチラシ、ポスター (回覧、掲示、配布等)	1	2	3	4



にじやま

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

回答いただいた調査票は同封の
返信用封筒に入れて、令和元年
7月31日(水)までに、
ポストにご投函ください。



ぽんぽこちゃん

甲賀市市政に関する意識調査へのご回答にあたって

このたびは、本市政に関する意識調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票のうち、《問10》および《問14》の各項目は、「甲賀市市民憲章」で示してい
る5つのまちづくりの方向性で分類していますので、ご理解いただきますようお願いします。

甲賀市市民憲章

わたしたちはみんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市、
を目標として、この憲章を定めます。

あふれる愛に
いろどる山河と
こぼれる笑顔に
うみだす活力
かがやく未来に

あなただけの仲間
生きいき文化
応える安心
受けつぐ伝統
鹿深の夢を